



ゴッドマシナ



「コッドマジンガー」コレクターズ DVD <デジタルリマスター版> 解説書

©ダイナミック企画・TMS

発売元  株式会社ベストフィールド

BFTD-0265



## 第1話 蘇りし伝説の巨神

脚本 北 真矢 演出 甲川よしあ 作画監督 本橋秀之 美術監督 須藤栄子

高校生の火野ヤマトは、ある日突然、アイラ・ムーという美女と巨神の幻を見た。幾度も見るうち、現実と呼び掛けられているものと気付くヤマト。アイラは1万年前のムー王国の女王であり、巨神はその守り神だった。これに応えたヤマトは時空を超えて、彼女たちの待つムーの王国へと飛ぶ。



◆第1話の脚本を執筆した北真矢はNHKのディレクターから脚本家に転身。テレビアニメ『デビルマン』(72年)や『キューティーハニー』(73年)の脚本も執筆し、永井豪作品には縁が深い。どこか永井豪ファンクラブの会員でもあるほどの自他共に認める永井豪ファンである。

## 第2話 選ばれし者の定め

脚本 北 真矢 演出 森田繁茂 作画監督 本橋秀之 美術監督 須藤栄子

黄金ドラッド率いるドラゴニア王国の侵略にさらされたムー王国。巨神であるゴッドマジンガーと一体化し、ムーの危機を救った火野ヤマトは救世主として迎えられた。事の重大さに戸惑いを隠せないヤマトだったが、アイラの侍女マドマから説得されて戦うことを決意。再びゴッドマジンガーと一体化し、敵に立ち向かう!



◆マドマ役の原えりこは当時人気の女性声優で、逆転イッパツマン(82年)のヒロイン・故夢ラン役などで注目され、1とときめきツナグ(82年)の主人公・江藤蘭世の声を演じて人気上昇。現在も、それいけ!アンパンマンのヒョン吉役などで活躍中。

## 第3話 光宿りしもの謎

脚本 大野木 実 演出 森田繁茂 作画監督 本橋秀之 美術監督 大野広司

ドラッドに勝利したムー王国騎士団は、ヤマトを囲んで祝杯をあげる。アイラが、女王故に皆と喜びを分かち合えないと悩んでいることを知ったヤマトは彼女を励ました。そんなとき、ゴッドマジンガーの声がヤマトに危機を伝えた。ドラッドの放ったシャーマン部隊が奇襲を仕掛けて来たのだ。



◆ヨナメ配下のシャーマン部隊は本作の鮮やかなひとつで作品の人氣に貢献した。半裸のナイスボディでサディスティック、そんな彼女から救なくムーの4騎士たちに倒される様はいつにも永井豪とダイナミックプロらしいキャラクター たった

## 第4話 マジンガーの秘密

脚本 大野木 実 演出 湯野島 義 作画監督 本橋秀之 美術監督 須藤栄子

騎士団にも打ち解けたヤマトは、彼らとラグビーに興じる。しかし、その隙を突くように敵の悪魔軍団が城に攻め入って来た。ギロンたちは空城の計を用い、門内に招き入れた敵陣営を倒していくが、やがて劣勢に。しかも肝心のヤマトは敵兵に連れられてゴッドマジンガーの元へ行けず……。



◆ヤマトとムーの民のカルチャーギャップも本作のみどころのひとつである。また!マジンガー-Z(72年)でも描かれていた、パイロットがロボットに搭乗するまでのサスペンスも盛り込まれ、ロボットアニメの王道たる展開を見せてくれた。

## 第5話 エルド王子の奇襲

脚本 北 真矢 演出 井戸田 敏 作画監督 本橋秀之 美術監督 須藤栄子

ゴッドマジンガーはヤマトが一体化しなければ動けないと知ったエルド。エルドは、ムーへの奇襲作戦を練る。アイラは、舌先に遊んでばかりいたヤマトを一喝するが、理不尽だと反論され、言葉に詰まって飛び出してしまふ。そんなとき、エルドの悪魔軍団がゴッドマジンガーめがけて襲い掛かって来た!



◆空からの敵に悩まれ、苦戦するゴッドマジンガー。も元祖!マジンガー-Z(初期に見られた展開で、本作がやはり!マジンガーシリーズである事実を再確認させられる一編。同時にヤマトの"少年らしさ"も描かれ、各キャラクターの磨り下げも行われた好編でもある。

## 第6話 アイラを救え!

脚本 塚本明美子 演出 西森浩吉 作画監督 本橋秀之 美術監督 大野広司

皆の前では何でもないかのように振る舞うヤマトだったが、先の戦いで受けた傷は癒えていなかった。一方、アイラはマドマと共に西の砦に向かった。ムラジから"光宿りしもの"がそこに眠っている可能性があることと告げられたからだ。一方、ヨナメも同様に西の砦に目星を付けて行動を開始していた。



◆指を押しで救うヤマトの姿を通して、騎士としての成長ぶりを描いたエピソード。ヨナメの声を演じた浅沢久美子はタツノコプロ作品の『鳥船少女テンブルちゃん』(77年)で主役デビュー。東京ムービー新社(現 トムス エンタテインメント)作品では、太陽の使者 鉄人28号(80年)でヒロイン・救世救子役の声を演じていた。

## 第7話 消えたマシンガー

脚本 星山博之 演出 三河野武 作画監督 本橋秀之 美術監督 須藤栄子

戦いに次ぐ戦いで、ヤマトは容体が悪化し倒れてしまった。しかしヤマトの血液型は特殊で、輸血できる者がいない。さらにゴッドマシンガーも神殿から忽然と姿を消してしまう。アイラはヤマトのうわ言を聞き、東の地下神殿に向かった。するとそこにひとりの美少女が突然現れた。それは……？



◆ヤマトの妹 火野カオルが登場。声を演じた高田由美も当時人気の女性声優で、『聖戦士ダンバイン』（'83年）のキーン・キッス役や『OKAWARI BOY スターザン5』（'84年）のヒロイン 八神ジュンの声などで人気を博した。

## 第8話 急げ！戦士ヤマト

脚本 坂本嘉美子 演出 伊藤幸雄 作画監督 本橋秀之 美術監督 須藤栄子

復活したヤマト。しかしまだ体調は万全ではない。アイラはヤマトを元遣い、密かにムラジ、4剣士を連れ立て「光闇りしもの」の探索に出掛けた。ゴッドマシンガーも自らの意思でアイラの廣衛に就く。そこに首長竜軍団が出現！アイラたちを襲った。ヤマトのいないゴッドマシンガーは手出しができない。



◆強敵である首長竜軍団が登場し、ゴッドマシンガーとアイラの苦戦が描かれた一編で、同時にヤマトとアイラの心の交流も描かれている。ゴッドマシンガーが自らの意志を持ちながら、ヤマトと一体化しなければそのパワーを発揮できないことを視聴者に明確に印象付けた。

## Disc2

## 第9話 恐竜工場発見！

脚本 坂本嘉美子 演出 佐野竜雄 作画監督 本橋秀之 美術監督 須藤栄子

ドラゴニア王国の指揮官ブラーは、これまでの失敗で一顧から外され、王国の重臣を言い渡される。じつはブラーはエルト、ひいてはドラドへの反乱という野心を内に秘めていた。そんなブラーの前にゴッドマシンガーの情報提供者が現れた。だが、その正体はヤマトとノローで……！



◆恐竜たちが工場で製造されているという衝撃の事実が発見！機動戦士ガンダム（'79年）以降「生産型ザク」等の設定でよりリアル志向が強化されたロボットアニメの風潮を受けてのことと思われるが、それが「生産兵器」の場合、やや生っけくどなりとさせられる。

## 第10話 恐るべき秘密

脚本 星山博之 演出 井内秀治 作画監督 本橋秀之 美術監督 大野伝司

ドラゴニア王国の恐竜工場となっている電作りの洞窟を発見したヤマトは、ギロンたちと共に潜入を試みる。別れて先へと進んだヤマトはドラゴニア城に迷い込んでしまうが、そこでドラドが鏡に隠れ掛ける姿を目撃。「光闇りしもの」の力が未来＝ヤマトたちの世界にも影響を及ぼすものと知るのだった。



◆本作のミステリーの一端が明かされる重要なエピソード。同時の設定を持つ『勇者ライディーン』（'75年）や『ムーの白輪』（'80年）でも「過去と現在のリンク」は重要な設定となったが、本作のように過去の世界がメインとなって描かれるケースは比較的珍しかった。

## 第11話 とらわれたアイラ

脚本 坂本 敏 演出 飯島正三男 作画監督 本橋秀之 美術監督 須藤栄子

異世界のムー王国にはしゃぐヤマトの妹・カオルをシャーマン部隊が襲った。ヨナメは誘拐したカオルに化けてムーの宮殿に侵入。妖術を使ってアイラを拉致することに成功。そして解き放たれたカオルが帰還し、ヤマトはアイラが敵の手に落ちたことを知る。ヤマトはゴッドマシンガーを召喚するのだが……。



◆ヨナメの変装（身？）能力が、身長や骨格まで変えられることが判明。今回も空からの敵にゴッドマシンガーは苦戦を強いられるかと思いきや無類の強さで異竜軍団を一掃する。完全なる機械ではないゴッドマシンガーには追加の飛行オプションが発局することなく、そこが本作の独自性となった。

## 第12話 奪われた手がかり

脚本 星山博之 演出 南 義 作画監督 本橋秀之 美術監督 須藤栄子

ヤマトはまた不思議な夢を見た。夢のスケッチを見たマドマの証言から、それが宮殿の噴水に描かれた紋様だと知る。さらにムーの古代文字の言葉が分かるようになっていたヤマトは、神殿に残されていた書物から、噴水に「光闇りしもの」の手がかりがあると読む。そんなとき、エルトが異竜を率いて奇襲作戦を仕掛けてきた。



◆ヤマトが予知夢を見、さらにはムーの民ですら読めなかったムー王国の文字を解读できたりと突然「未知の能力」に目覚めたかと思えば、ゴッドマシンガーもまたヤマトとの融合なしで敵同様に、異世界の異竜軍団を相手に苦戦。急転直下の展開の連続に目が離せなくなってしまう一編だ。

### 第13話 危うしマジンガー

脚本 星山博之 演出 三河島五郎 作画監督 本橋秀之 美術監督 大野弘司

エルドは「光宿りしもの」の手がかりとなる円盤の半分を奪取したものの、その在り処をドラドに教えなかったため投獄されてしまった。一方、残る円盤の片割れの所在を突き止めようと尽力していたヤマトは「光宿りしもの」が自分たちの時代=現世の世界にも影響するものであることを知る。と、そこにドラドが攻めて来て……!



◆前回に引き続き今回は、ドラドとエルド父子のジェットコースター的破壊ドラマが描かれ、ドラドが恐竜軍団を引き連れてムー王国のシンボルである城に攻め入り、一気に増城状態まで追い込んでしまう展開に度肝を抜かれる、そんななか、戦死したノローの最期の妻には涙を禁じ得ない

### 第14話 光宿りしものの恐怖

脚本 塚本憲実子 演出 伊藤幸松 作画監督 本橋秀之 美術監督 斎藤孝子

ムー王国の宮殿はドラドの侵襲によって占領され、ムーの民は流離の身となってしまふ。埋もれたゴッドマジンガーを探して神殿の地下へ向かったヤマト、カオル、アイラの3人は、ゴッドマジンガーに導かれて異世界へ飛ばされた。そこはドラドが「光宿りしもの」の力を操る力を掌握し、世界を支配した未来だった。



◆まさかのムーの民が流離を余儀なくされる展開! さらにヤマトと自分たちがもっと強くなるためには時間が必要と述べ、一旦は別れを告げたゴッドマジンガーが終盤には、ムーの民と共に再起を誓うヤマトらを助けるため早くも再会する……という物語の流れに「本作らしさ」を感じさせられる。

### 第15話 さすらうムーの民

脚本 星山博之 演出 西森明彦 作画監督 本橋秀之 美術監督 斎藤孝子

西の蒼を目指すムーの人々。ヤマトたちは警を制圧していたヨナメたちに夜襲を仕掛けた。実戦に参加したアイラの活躍も目覚ましく、ヤマトたちは西の要塞に成功! しかしヨナメはすぐさま逆襲を立て直し、逆襲して来た。ヤマトたちが恐竜軍団の猛攻にさらされたそのとき、遂にゴッドマジンガーが姿を現した!



◆アイラの実験初参加劇、コスチュームも一新され、ハレンチ学園「68〜72年」の十兵衛(柳生みつ子)やおばしり一家「69〜73年」の西馬辰吉の面を彷彿とさせ、より「永井豪ヒロインらしく」なった。同時にカオルの道場主でもあるのか、ゴッドマジンガーの力で別と簡単に現代へ帰る設定に視聴者は驚きを抑えなかった。

### 第16話 ムラジの最期

脚本 星山博之 演出 板野浩吉 作画監督 本橋秀之 美術監督 大野弘司

ヤマトたちは西の蒼の地下で散乱した円盤と、それらを取り戻す装置を発見した。円盤を次々とはめ込んでいくが、エルドに円盤の片割れを奪われたままだったため、装置を完成させることができない。手詰まりとなったアイラたちを見かねたムラジは意を決して円盤を奪回すべく、単身エルドの元へと向かった。



◆サブタイトルが示す通りのムラジ追討編だが、殉戦の原因がエルドのアイラへの愛執という辺りがなんともやるせない。また、円盤の半ピースのフェイクを作り、それで逆の装置を起動せよとしたヤマトらの無茶ぶりも描かれ、敵味方入り混じった過激な演出が非常に面白い。

### Disc3

### 第17話 エルドの秘密基地

脚本 星山博之 演出 森内秀吉 作画監督 本橋秀之 美術監督 斎藤孝子

ムラジの決死の活躍も虚しく、円盤奪回には至らなかった。だが、ギロンとゾルバが苦心の末に完成させた円盤のレプリカをはめ込むことで装置の起動に成功。逆襲は、彼らが見たこともない未知の世界の光景を映し出した。やがて、エルドの潜伏先を掴んだヤマトたちは出撃。奇襲攻撃を仕掛けた!



◆前回、フェイクではなかった円盤の秘密が本話では初明。ムラジの死がいざさか無敵になったような……ムラジの死をヤマトとアイラが悔ひのかせめてもの慰めか、海の底 海竜が出現! つい海中戦で苦戦するゴッドマジンガーを期待してしまおう、その期待もやはり現実に裏切られることに。

### 第18話 驚異の海底空間

脚本 星山博之 演出 三河島五郎 作画監督 本橋秀之 美術監督 斎藤孝子

奇岩窟に向かったヤマトたちは、その山頂でムーの紋章を象った洞穴を発見した。奥へと進み、さらに壁面に刻まれたムーの紋章を発見。洞窟内の湖を泳ぼうとしていたヤマトをシャーマン部隊が襲う。ヤマトの危機にゴッドマジンガーが出現したが、敵の異次元軍団も手強くヤマトとゴッドマジンガーは窮地に……!



◆新たな謎=ムーの紋章が現れ、ヤマトとゴッドマジンガーの危機を救うという新展開。いつの間にかパワーアップした異次元軍団に負けそうになるゴッドマジンガー。彼らを一掃にして白粉化してしまう深淵からの光はムーの紋章から放たれたようだが、その謎も明かされぬまま最終回を迎えることに。

## 第19話 決死の湖底探査

脚本 田口成光 演出 坂野真直 作画監督 本橋秀之 美術監督 大野広司

ムーの紋章の謎を解明すべく、ヤマトはゴッドマジンガーの忠告も断ち切って前進した。ヤマトは、自分が隠業をしなければムー王国を救うことなど叶わないと思い始めていたのだ。しかし、無理が祟りヤマトは意識を失ってしまう。そこに、またもヨナメたちシャーマン部隊が襲い掛かって来て……。



◆戦いの激化による渾身創傷のヤマトを憂えるがゆえに彼の身をアイラたちの元へ届け、休息の時を与えようとしたゴッドマジンガーの厚意が遂にヤマトらに窮地を助けてしまうという皮肉な展開が面白い。また、エルドの秘密が巨大ロボットというのも期待を裏切らない設定だ。

## 第20話 ドラドの怒り

脚本 星山謙之 演出 井内秀治 作画監督 本橋秀之 美術監督 大野広司

ドラドにも異変が起きていた。死の予兆が現れ始め、焦ったドラドは移動要塞で出陣。自らはエルドを、シャーマン部隊にはヤマトたちを襲わせた。ヤマトはゴッドマジンガーと一体化し、移動要塞に立ち向かった。一方、ヨナメはムー王国側の持つ円盤の奪取に成功。命を引き換えにドラドへと送り届けのだった。



◆余命を惜み、ヤマトとムーの民に総攻撃を仕掛けるドラド。エルドは空から出現した巨大ロボットで反撃を翻そうと目算むが、死期の近い父の死をいまだ倒そうとなくとも……と思ってしまう。ドラドの巨大要塞が倒れた最終兵器が“竜巻”で、ゴッドマジンガーもそれにはかなわない通り、本作の独自性を強く感じさせる。

## 第21話 ヤマト対ドラド!

脚本 田口成光 演出 伊藤幸枝 作画監督 本橋秀之 美術監督 須藤栄子

ヤマトたちは円盤奪取に成功した。だがゴッドマジンガーは先の戦いから回復しておらず、ヤマトは自身の方で立ち向かわなければならなかった。対ゴッドマジンガー用の戦闘ロボットを完成させていたエルドも絶好の機会と、ドラドに対して反撃を酬した。それぞれの思惑がドラゴニア城でぶつかり合い……!



◆ドラドに阻まずドラゴニア人には生来の巨大化能力があるのだろうか? とくささに絡めて円盤の半ピースを奪うエルドの姿には、どうしても同時期放送の『重機機エルガイム』(‘84年)に登場するキャブレット・ギャブレイにイメージが被って仕方がない。ギャブレイの声も同じ辻水あやで、ちゃっかり居さんな性格設定もそっくりだった。

## 第22話 ヤマトが死んだ!?

脚本 星山謙之 演出 三河泰一郎 作画監督 本橋秀之 美術監督 大野広司

エルドは遂に円盤を揃え、ドラゴニア城の王座に輝いた。そして追って現れたヤマトとゴッドマジンガーを討ち果たすべく自ら巨大ロボットのライガーで出陣。その剣がゴッドマジンガーを貫いた。ヤマトの敗北を知らされたアイラは、自分がヤマトを愛していたことに気付く。陥落するアイラの前に現れたエルドは……?



◆ついに出現したエルドの秘密兵器はライガー(ライオンと虎のハーフ)型の巨大ロボットで、もし放送版が通っていたら、以後は待望の巨大ロボット戦が繰られたかもしれないと思うと少々残念。アイラがようやく自身のヤマトへの愛に気づくが、姉さん女房的なイメージゆえに超時空要塞マクロス(‘82年)の主人公一条輝と被と結ばれた上宮 早瀬未沙カップルを彷彿とさせる。

## 最終話 ヤマト対エルド

脚本 田口成光 演出 坂野真直 作画監督 本橋秀之 美術監督 須藤栄子

エルドは気丈に振る舞うアイラをますます気に入り、彼女の前でゴッドマジンガーとヤマトを消滅させると、今度こそアイラとの祝言を準備し始めた。だが、ヤマトはゴッドマジンガーが振り絞った最後の力を受けて甦ると、エルドとアイラの結婚式に突入! アイラを救出し、敵軍に敗退と立ち向かった!!



◆急ぎで決まったロサンゼルスオリンピックの開会式中継のために放送回数が1回削られ、暫てこの23話と24話を再編集して1話分に仕上げたという曰く付きの最終回当初、最終回に予定されていた第24話のサブタイトルは「漸に倒れたマジンガー」で、概めを果たしたゴッドマジンガーが海底に沈むラストだったのだろうか?



# ゴッドマジンガー

## 設定画集

現存する設定画を厳選して掲載する。なお、キャラクターデザインを手懸けたのは平山智。平山は仕事を共にした本橋秀之、竜頭一朗とスタジオZを設立、『六神合体ゴッドマーズ』（'81年）は参加中フーとなり、現在に至る。メカもののみならずギャグやスポーツものまで、参加作品は幅広い。トム・エンタテインメント作品と縁が深く、現在も「ルパン三世」シリーズのキャラクターデザインや作画監督を務めている。他、代表作は『キャプテン・アイ』（'83年）など。



### 火野ヤマト

初登場は原稿時、20世紀末からゴッドマジンガーに呼ばれてタイムリプシ。直前に万年前のムー大陸へ戻れた。異なる文明や環境。そして知られた自分の力に戸惑いながらも、巨獣のムーの戦士へと覚悟している。



### アイラ・ムー

ムー王国の女王で、ゴッドマジンガーに憧れる少女でもある。まだ幼い女王であるが、ムーの民たちに慕われている。後半はショートカットになり、服装も行動もアクティブになった。



### マドマ

アイラに仕えるものの、自分の理想を追求する少女。ヤマトの母に似ており、彼女が慕っていたことからヤマトは強い決意を固めた。彼女もアイラ同様ヤマトに憧れるような気持ちを抱いている。





## ユウラ・ムー国王と王妃

アイラの両親、ドットに与ったため被害された。

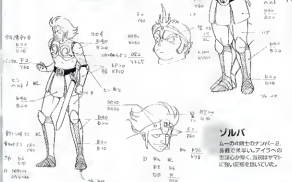


## ムラジ

老練と評される相役役、ユウラ王時代から戦いや戦術において活躍していた。人前によく、アイラや4騎士だけでなく悪党からも敬愛されている。

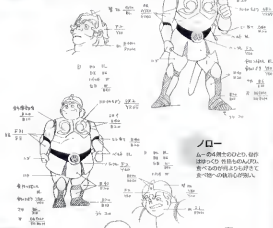
## ギロン

ムーの4騎士と混同された著名。前編だけでなく戦術にも関与した4騎士のリーダー様。い



## デリヤ

ムーの4騎士のひとり、団長と協力し目標、悪魔を退治。性格が温厚で正義感が強いのが、彼女の長所。



## ノロー

ムーの4騎士のひとり、性格はしっかり。性格ものんびり、食べるのが得意も好きで、食べ物の執念が強い。

## 火野カオル

サマの母で、別名は母のよう。好奇心旺盛で特殊なメカを愛する。時空を超えて冒険した父の姿を慕っている。



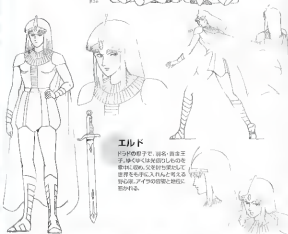
## ソルバ

ムーの4騎士のナンバー2、悪魔で悪事し、アイラへの忠誠心強く、当初はサマに強い反感を抱いていた。



## ドラド

ドミニカニア王国の国王、新約を讀めた御弟から成金王とも呼ばれる。悪魔百圓と兵士たちが召使い、秘宝・光留りしものを盗ってムーを救め立てる。



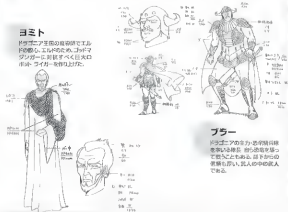
ILF

ドラゴンの皇子で、別名・黄金王子。ゆくゆくは光輝力しものを歌中に収め、父を討ち果たして世界を手中に入れんと考え、野心家。アイラの宿敵と地位に争われる。



## ヨナメとシャーマン部隊

シナメを模範に美女ばかりで構成された、ドラゴニアに似づくノーブル。シナメは結婚を希望とし、家系能力も有する、貴族への求婚は断れず、行方不明であるこのシーマン情報は特に男性ファンからの人気が高かったという。



## 4311

ドラゴニア王国の魔術師でエルドの敵心。エルドのため、ゴッドマジンガーに挑戦すべく巨大ロボ・ライガーを作り上げた。

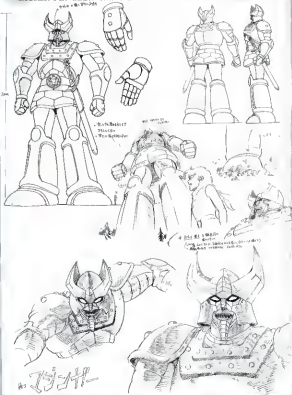
## ブチー

ドラゴニアの主力・忠告隊員は、老練な隊長。自ら進取を逞めて戦うこともある。以下からの依頼も多い。此人の中の武人である。

## ゴッドマジンガー

ムーの守護神、ムーの民の守護神、ヤマトからゴッドマジンガーと呼ばれる。身体は石像であるが、魂を打ち、ムーの民を助ける。そのとき王の心を持つ世界主(ヤマト)を倒し、融合して戦う。また、ムーの民に教えた神の魂、その魂は、IP

ゴッドマジンガーの魂



## ライガー

ゴッドマジンガーと対決し、心は持たない(魂は口だけ)。しかし、魂は破壊して足場の崩壊で逃げ上がり、剣とレーザーガンで戦闘に勝つ。



ライガーの魂



# 恐竜園

ドラゴニアが誇る主力兵器である恐竜軍団。彼等は我々の知る恐竜に類似している。恐竜工場の生産の両方で製造されている。ゴッドマジンガーを倒すために強化された。メカ恐竜と違わずに呼吸した。



ティラノサウルス 60cm



ステロサウルス 60cm



アトラトン



ゴルゴサウルス

(40-50cm程度 100kg)

トリケラトス

# ゴッドマジンガー

## 関連アイテムの世界

～明治 ゴッドマジンガー  
ムー大陸の魔神 シリーズ12つ～

「ゴッドマジンガー」のメインスポンサーは「チョコレートは明治」のキャッチフレーズでお馴染み、老舗中の老舗お菓子メーカーの明治製菓株式会社(現 株式会社明治)だった。当時既にこの手のロボットメカアクション系のスポンサーは、発売アイテムグッズに直接関与し玩具メーカーが企画となっていた時代に、菓子メーカーがメインを張るのは珍しいことだった。そもそも明治製菓は元箱庭雑誌テレビアニメである『鉄腕アトム』(63年)を1社独占した由緒正しきスポンサー。言うなれば『ゴッドマジンガー』は、先の『鉄腕アトム』(63年)に「旅人2号」(63年)の江夏グリコや『(エイト)マン』(63年)の丸善製食品工業、『少年ケン』(63年)の森永製菓、『オバケのQ太郎』(65年)の不二家など古き良き時代のテレビアニメ作品のスポンサーシステムの正統な後継者と言える。

その明治製菓からは、

- ・明治ふるくむ(フーセンガム) ゴッドマジンガー ムー大陸の魔神 180円  
キャッチコピー: だのしきふくむ4つのみく入り! (全部で8種類)
- ・明治チョコモナカ ゴッドマジンガー ムー大陸の魔神 100円  
キャッチコピー: のびのびモデル入り! (全部で18種類)
- ・明治チョコボール ゴッドマジンガー ムー大陸の魔神 100円  
キャッチコピー: プラスチックモデル入り! (全部で6種類)
- ・明治コーンスナック ゴッドマジンガー ムー大陸の魔神 50円  
キャッチコピー: アニメカード入り! (全部で50種類)

↑上記4種類のアイテムが放送後まもなく新発売された、いわゆる「お菓子のおまけ」=ふるくに「ゴッドマジンガー」グッズが付いているという意向だが、こうして把握してみるとプラモデルにフィギュア、「のびのびモデル」と名付けられたキンプリシ(キン肉マン)消しゴム人形のミニフィギュア、さらに「アニメカード」と銘打たれた、いまだ黒塗りデザインガードなど、おおよそ考えられるこの手の作品のメインアイテムのほとんどがお菓子のおまけだけで賄えてしまうという、じつに質素な対応を望んでいた。玩具メーカーのマークから「スーパー合金」というブランド名で一級合金製のゴッドマジンガーのフィギュアが、そして他社からもゴッドマジンガーを無断に真・偽物たちのミニフィギュアが発売されていたが、明治製菓製のおまけ類のほうが出来も美麗らしく、それに比べ正統の玩具類がやや影の薄かった印象を受ける(それにしても、プラモデルの6種類ならまだしも、のびのびモデル18種類やアニメカード全50種類をコンプリートされている強者がこの数倍上の作品かにはいられないのだから)。

ここではパッケージとふるくのアニメカード3点を厳選及びご紹介しよう。グリーンをベースにしたパッケージカラーは同社のヒット商品『明治の(スナック)カール チーズ味』を踏襲しているのだったのだろうか? なお、本商品もそうだが、「てんとう虫コヨックス」(小学館 全4巻)の漫画作品でもタイトルは「ゴッドマジンガー ムー大陸の魔神!」と表記されており、こちらが全巻時からの正式タイトルで、放送のギリギリになって「ムー大陸の魔神」という別題がカットされた事象が見える。



アニメーションのイラストを使用した秀逸なデザイン。右下のシール部分からは中巻のコーンパフや封入カードが覗き見していた。上下の銀いストリッチもオシャレだ。



こちらはパッケージの背面。右上に華々しく立つゴッドマジンガーの姿が前面にカッコいい。裏はコンソメ味のみ確認されている。



封入されていた「アニメカード」: 本作のアニメーターによる描き下ろし(透写・紙削イラスト)、もしくは画像から抜いた名場面画像がカード化されていた。50種類すべてを片やめていたところだ。



カードの裏面では裏面のキャラクターや物語の細かい設定等が解説されていた。表・裏共に「ゴッドマジンガー」のタイトルロゴがレイアウトされているが、何故か本編のものではなく企画時のものが使用されている。